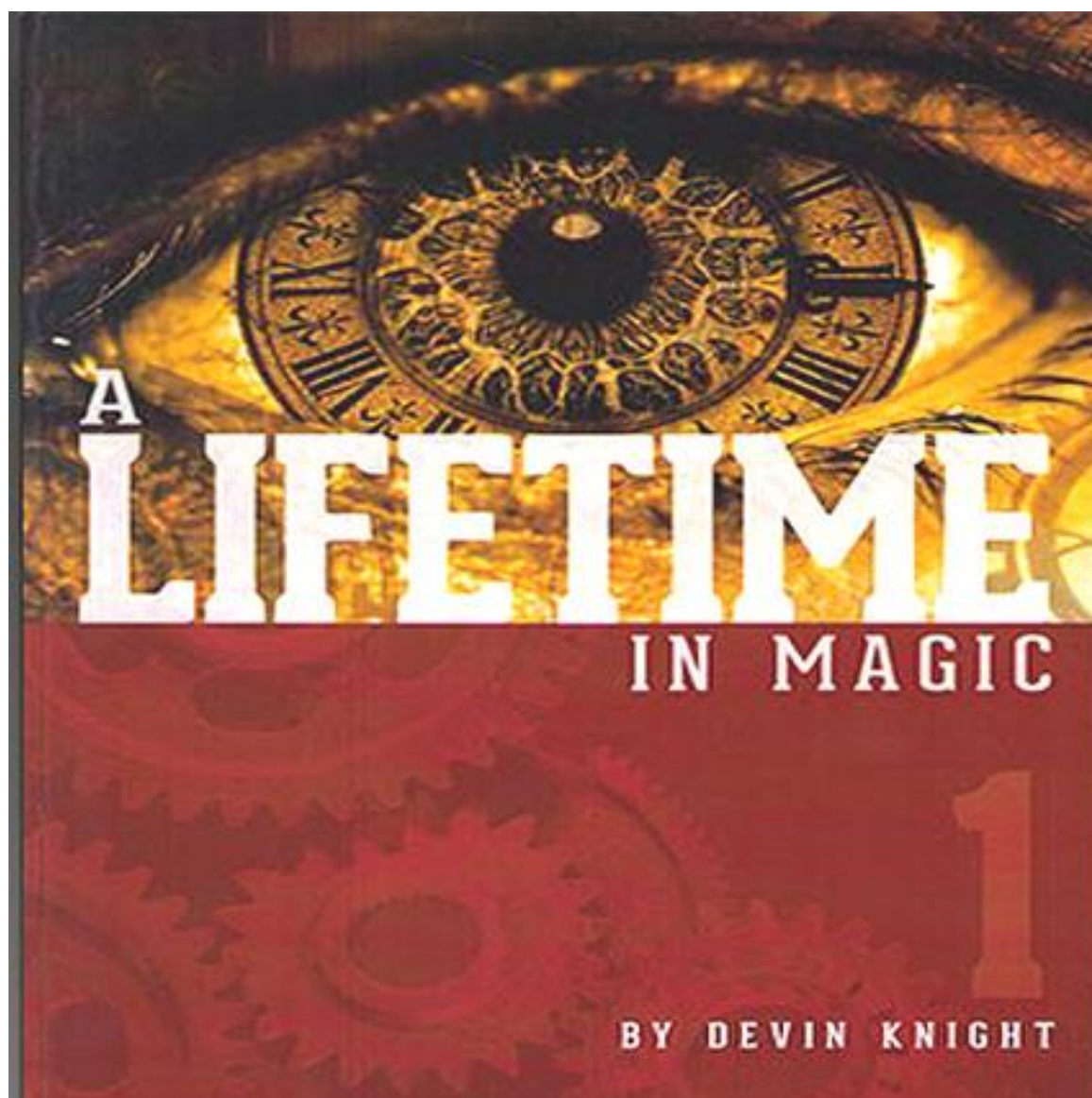


ライフタイム・イン・マジック



A
LIFETIME
IN MAGIC
BY DEVIN KNIGHT

ベストマジック&メンタリズム9作品一挙公開

< **日本語解説書** >

DEVIN KNIGHT TALKS ABOUT HIS CAREER SO FAR

(DEVIN KNIGHT が語るこれまでの軌跡一要約)

私は小さい時から、日曜の朝はテレビの MARK WILSON の「LAND OF ALAKAZAM」にかじりついているような子供でした。不思議とトリックを見破る才能が有って、テレビで 1 人のマジシャンが火の点いた煙草を空中から何本も取り出すのを見て、すぐに両親にクレヨンを何本も取り出して見せたのです。つまり、誰にも教えられなくてもサムパームをしていたのです。

大きくなるにつれ、私の興味はメンタリズムとマインドリーディングに向かいました。THE NELSON ENTERPRISE (有名なメンタル系マジックショップ) のカタログは私のバイブルとなり、昼ご飯代を削ってお金を貯めてメンタルマジックの道具を何年にもわたり買い漁りました。その結果、私はマインドリーディングや超能力もののエキスパートとなったのです。

始め私は、JASON MICHAELS という名前で超能力者として活動しました。私の両親が大変信心深く、息子が超能力者と名のることを極端に嫌ったこともあり、私は自分の素性を完全に隠していました。当時は (その後親友となった) AL MANN やガールフレンドにさえ、真実は教えませんでした。JASON MICHAELS としての、超能力者としての活動は順風満帆でした。

後で話しますが、調子に乗った私と AL が AL MANN PUBLICATION から出版した「THE INCREDIBLE FEATS OF JASON MICHAELS」という本は大変な評判になりました。オリジナルは何百ドルもしたこともあります。その後無許可のコピーも出回りましたが、LYBRARY.COM が AL MANN から権利を買い取り長く販売していました。現在は絶版となっています。しかし実は、この始めは大成功に見えた AL MANN のよる出版物が私の超能力者としてのキャリアに終止符を打つことになるのです。

私は 80 年代に超能力者としてスターダムへの道をスタートしました。そのきっかけとなったのが、NEWFOUNDLAND の飛行機の大事故を予言したことです (訳注: 1985 年 12 月にアロー航空 1285 便が墜落し、256 人が犠牲になった事故)。私の予言は公証人により認証を受け、さらに州の上院議員のサインまでもらっていたのです。上院議員は飛行機事故の予言は見たが、それが本当に起こるとは思わなかったと報道陣に驚きをもって語ったものです。

報道関係者にとっては、その予言はトリックとは言えず、本当の超能力による予言の一例だろうということになりました。私は夢の中でその新聞の見出し記事を見たのだと話していました。公証人や上院議員を巻き込んだこの一件で、私は文字通り一夜にして有名人となりました。ASSOCIATED PRESS 誌が、私を本当の超能力者だと紹介したのです。そのニュースは世界中を駆け巡り、2000 以上の新聞に掲載されました。

その記事が、当時「HEADLINE PREDICTION (見出し記事の予言)」の第一人者であった AL MANN の目にとまりましたが、彼はどうして私の予言が可能であったのか判らなかったのです。彼は私に電話をしてくる、しきりに会いたがりました。それが彼との生涯にわたる長い友情の始まりでした。

かれは私が創作したエフェクト達に感動し、特にあの不可能な HESDLINE PREDICTION のやり方を知りたがりました。私は、他言しない事を条件に教えてあげました。彼はその後多くのメンタリスト達はその秘密を知りたがって彼に接触してきたが、すべて断ったと語っています。

その予言の件は AL MANN や他のメンタリストだけでなく、超能力研究者達の注目を集めました。JASON MICHAELS は本物だろうか? 彼らは知りたがり、私をテストしたがりました。その事がまた報道関係者の間に旋風を起こし、JASON MICHAELS は彼らの前でいくつもの不可能なことをやって見せたのです。金属を曲げたり、煙を起したり、目隠して車を運転したり、新聞社の中で空中浮揚さえ見せたのです。

JASON がやることがまた彼の名声を高めることになりましたが、最も有名なのは「他の人々と一緒に写真を撮ったのに、出来上がった写真には JASON が写っていない」というものです。その写真は多くの新聞の一面を飾りましたが、その秘密は今日に至るまで誰にも明かしていません。

報道陣と超能力研究者達相手にすべてが大変うまく行っていたので、前に少し触れたように AL MANN が、私が今までやって来た事についての本を出版しないかと提案してきました。すべてうまく行っていた私はそれに同意したのですが、これが実は後に大失敗だったと判るのです。その本は結果的に私のプロの超能力者としてのキャリアを終わらせることになったのです。

ただそれまでは私は自信満々で、研究者達にも挑戦的な態度をとっていました。もともと研究者達は「JASON MICHAELS は偽物だ」と暴きたい人達であり、決して「彼は本物の超能力者だ」とは言わなかったのです。それによって私には次第にフラストレーションがたまり、ある時やり過ぎてしまいます。PAUL KURTZ は「永遠のヒューマニスト」として人々の尊敬を集めていたアメリカを代表する懐疑論者でしたが、彼の出演したラジオ番組で彼が超能力に対し否定的意見を述べた時、ゲストと呼ばれていた私は「研究者達は（JASON は本物だという）本音を隠している」と PAUL に鋭く反論したのです。

その後しばらくして研究者の団体は新聞に「JASON についての本音を語る」という告知を出し、その発表会に私を招待したのです。私は、「ついに彼らも負けを認めたか」と意気揚々として会場に乗り込みました。しかし、後に皆から「本当の超能力者だったら、そこで何が起こるか判ったはずだ」と笑われる事態となるのです。

会場では研究者達は、始めは自信満々でいる私の事を「本物のように思える」等と説明して行きます。私が報道陣相手にやったことは、かつて見たことのない現象ばかりだと持ち上げます。かつて私のやることを見たことのある新聞記者達からは、拍手さえ起きました。

しかしついに悪夢は始まりました。研究者の 1 人がおもむろに立ち上がり、こう言ったのです。

「JASON MICHAELS は確かに私達を煙に巻いてきました・・・しかし、彼は実は単なる腕の良いマジシャンに過ぎないのです。今まで見たうちで一番のトリックスターです。しかし超能力者ではありません！ JASON と彼の友人 AL MANN は私達のことを笑っているに違いありません。如何に我々をだまして超能力者だと思わせたのかを思い返して笑っていたのです・・・ではどうして我々にはそのことが判ったのでしょうか？ 何と彼らは、他の超能力者だと称する者達のために、やり方を書いた本を出版していたのです！これがその本です！」

私は卒倒しそうになりました。新聞記者達はその本を見たがりでしたが、その研究者は「彼はマジシャンであり、この本には彼のマジックの貴重な秘密が書かれているので、広く一般に公開すべきものではない」として断りました。その代り彼は皆の前で金属の鍵を曲げて見せたのです！やり方は明かしませんでしたが・・・。

たった一つの救いは、彼らが私の HEADLINE PREDICTION だけはどうして可能なのか判らなかつたことです。というのも、その秘密だけは本に載せなかつたからです。その秘密はその後 25 年間明かしませんでした。

この残念な出来事は新聞に取り上げられ、全国に報じられました。また雑誌にも「JASON MICHAELS の仮面を剥ぐ」との記事が特集されました。こうして HEADLINE PREDICTION 以外のほとんどの超能力エフェクトのやり方が暴露されてしまったのです。

それ以降私への出演依頼はキャンセルされ、私の所属事務所も私を外しました。こうして地に堕ちた超能力者は表舞台から消え、その名を再び聞くことはありませんでした。

ただ JASON MICHAELS にとって、姿を消すのは簡単な事でした。と言うのは、それは本当の名前ではなかつたからです。私はヘアスタイルを変え、紙を黒く染め、本名で LAS VEGAS へと移動しました。数年後に私が DEVIN KNIGHT として再登場する頃には、もう JASON MICHAELS のことはメディアからも忘れられていました。

AL は、我々の本が私を追い落としたのにショックを受けました。実は続編も準備されていたのですが、立ち消えとなりました。計画されていた大きな出し物も取りやめました。AL は我々の本の中で、「JASON は今、目隠しをしてエンパイアステートビルからパラシュート降下することを計画している」と述べていたのです。

CHRIS ANGEL や ANDRE KOLE がやるよりずっと前に、80 年代後半に水の上を歩いてみせたのも私です。また私が自動車事故で死に、葬式の際に生き返るというアイデアも考えましたが、私が死の世界から戻って来たら信心深い人は皆恐れるだろうという声もありました。そのアイデアは私と AL で細部まで検討し実現できる運びだったのですが、全ては JASON が暴露されたことでダメになりました。おそらくその秘密は私が文字通り墓場まで持って行くことになるでしょう。

本の続編は出版されませんでした。そのために用意された多くのエフェクトは AL の死後、私が発表することになりました。あるものはマジックマーケットでの商品となり、またあるものはこの本と後に続くシリーズの中で発表されることとなります。

この本のシリーズには、私がこれまでの人生で創り上げたベストマジックとベストメンタリズムのいくつかも含まれています。それはそれらが忘れられてしまわないようにという気持ちからです。また同様に、次世代のメンタリスト達に私の人生前半での超能力者としてのキャリアも知ってもらえれば幸いです。

この本を楽しんでください。

DEVIN KNIGHT

IMPROVED TRI-EPIC DELUXE



これは私が長年自分のショーで演じてきたエフェクトの1つを解説したものです。このエフェクトは間違いなく観客にうけるものです。やり方の一部は MEL STROUSE のやりかたからヒントを得ていますが、ここで説明する新しいバージョンでは多くの改良がなされている事が判ると思います。

私は DAVID COPPERFIELD の GRAFFITI WALL のようなエフェクトを秘密のアシスタントなしで演じたいと思っていました。この TRI-EPIC では「MENTAL EPIC」に匹敵するような3つ、あるいは4つの予言を実現します。このやり方のうまい所は「ONE-AHEAD」のやり方をしない点です。古めかしい黒板も使わず、観客にとっては本当に不思議な現象です。

(訳注:「GRAFFITI WALL」はステージ上の大きな壁に客の言った動物等の3つの事柄を書き、観客の見える所に置いてあった封筒を開けると、中から壁の絵が出て来て、ステージ上の壁の内容と一致するというイリュージョンです。「MENTAL EPIC」は3つの部分に区切られた黒板に3つの予言を書き、客が言った事と比べてみるとすべて予言と一致しているという有名なメンタルマジックの古典です)

この新しいやり方では、最後の、そして巧妙なキッカーとして4番目の予言が加えられています。また TRI-EPIC では観客は高い料金を払うことなく GRAFFITI WALL の雰囲気を楽しむ事が出来ますが、それは PRE-SHOW WORK (訳注:特定の客への事前の働きかけ)を必要としない一人で演じられるものです。

(現象)

「さくら」ではない3人の客にステージに上がってもらいます。ステージにはコルクボードが置いてあり、そこには1枚の封筒が留められています。

メンタリストは客の1人に封筒の中に何かがあると思うかと聞くと、その客は「判らないNO」と答えますが、メンタリストは「その通りです!」と言って封筒の中から小さい封筒を取り出しその表に「NO」と書かれているのを見せます。

観客の笑いがおさまったところで、メンタリストは「この中にはある予言が入っています」と言って、その封筒を客の1人に渡します。大きい方の封筒は破いて、中が空であることを示します。

メンタリストは、まだ何も始めてない段階で予言を客に預けた点を強調しておきます。テーブルの上に3枚の新聞紙が置いてあります。

客Aに自由に新聞紙を選んでもらい、それを観客によく示します。

メンタリストは残りの2枚の新聞紙を示し、2枚が異なるものであることを確認します。新聞紙を持っている客に、新聞紙の一面をとって誰にも判るようにコルクボードにピンで留めてもらいます。

次にジャンボカードのデッキを取り出し、カードがバラバラであることを示します。メンタリストはカードをトップから1枚ずつ取って、もう一方の手に渡して行きます。客Bに好きな所でストップをかけてもらいます。何回気を変えてもらってもかまいません。こうしてフェアに最終的に決まったカードを客Bに渡します。

次に客C(封筒を持っている客)に色々な色のマーカーを入れた大きなバッグを示します。マーカーはいろいろな色だけでなく、細書きのマーカーと太書きのマーカーが混じっています。客Cにバッグに手を入れてもらい1本のマーカーを選んでもらい、客Bに渡してもらいます。

その客に選んだカードの絵を（コルクボードに留められた）新聞紙に書いてもらいます。仮に客 B が緑色のマーカーで♠2と書いたとします。

最後にメンタリストは客 B に、マーカーが細書きか太書きかを尋ねます。仮に太書きだとしたら、新聞紙の「♠2」の下に「太書き」と書いてもらいます。

演技の始めから封筒を持っていた客 C に封筒の中味を出してもらいます。するとそれは折りたたまれた新聞紙であり、客 A が自由に選んだものと同じ新聞紙なのです。

その新聞紙には客 B が選んだのと同じカードが描かれています。しかもそれは客 C が自由に選んだ緑色のインクで描かれています。こうしてここまでは3つの予言が実現したことになります。そして最後のキッカーとして、メンタリストは折ってあった予言の新聞紙の最下段の部分を拵げます。そこにはこれまた緑色のインクで「太書き用」と書かれています。

(必要なもの)

省略

(やり方)

省略

(セット)

省略

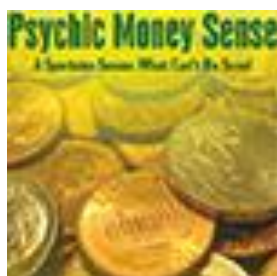
(演技)

省略

(他のアイデア)

省略

PSYCHIC MONEY SENSE



私の BLINDSIGHT シリーズの1つに、客が隠されたコインが何かを感知するという MONEY SENSE があります。そのエフェクトのハンドリングは何年にもわたり何回も改良してきました。

ここで解説するハンドリングは最新のものであり、ギリギリまでつきつめて考えたものです。これを初めてマジック界に公開いたします。

これは BLINDSIGHT から自然発生的に生まれて来たもので、BLINDSIGHT や POKER TELLS といったマジックと共に演じるには最適のものです。あなたも試してみれば客の反応の大きさに驚くことでしょう。なかなかない不思議なメンタルエフェクトです。

このエフェクトの本当に良い所は、これがテクニック不要のセルフワーキングトリックだという所です。あなたは1つのことだけ—客が最初の封筒に入れるコインが何かだけを見ておけば良いのです。

以下の解説では、私が練り上げて来た手順のすべてを説明します。きっとあなたのクローズアップメンタルマジックのレパトリーとなる事でしょう。

このトリックには2つのOUT（結果）がありますが、どちらもあなたの予言との驚くべき一致となります。

(現象)

このマジックでは客がサイキック能力を発揮して、自分自身が驚くこととなります！

メンタリストは3枚の小さな封筒を示します。それぞれの封筒は種類の異なるコインが1枚ずつ貼り付けられています。1セント、5セント、10セントのコインです。もちろん読者は自国のコインに置き換えてください。

メンタリストは予言をしておいたと言って、テーブルの上の予言の紙を示します。またメンタリストは、封筒に貼り付けられたコインが客のサイキック能力を刺激して客をガイドするだろうと言い、その結果がメンタリストの予言と一致することを期待すると言います。

テーブルには封筒のコインと同種の3枚のコインが置いてあり、客にその3枚のコインを封筒の上部のテーブルに置いていてもらいます。ただし封筒についているコインと同じコインを選ぶことは出来ないと言います。つまり、例えば封筒に5セントが貼ってあったら、客は1セントか10セントのコインをその封筒の上部のテーブルに置くこととなります。

客はメンタリストの予言の内容は知りませんが、自分の第6感を最大限に働かせて、メンタリストが各封筒の上部にどのコインを置いて欲しいと思っているかを感じ取ってもらいます。

客がコインを置いたら、「今なら変えてもかまいません」と言ってコインの置き場所を変更するチャンス客に与えます。客の選択は全くのフリーチョイスです。最終的にコインの位置が決まったら、コインをそれぞれの封筒の中に入れてもらいます。この間メンタリストはコインにも封筒にも触りません。

ここでメンタリストは、それぞれの封筒の中には実はあるコインが入れているのだと言います。そして客が自分の第6感により正しくコインを選択したならば、それぞれの封筒の3枚のコインが3種類のコインのセットになるだろうと言います。つまり、例えば表面に1セントが貼り付けられた封筒の中のコインは5セントと10セントとなるという訳です。

客が1つのセットを作ったとするとそれは偶然によるものかもしれません。しかしメンタリストはここで予言を開けて見せ、そこに「私は、あなたが自分の第6感によって3つの完璧なコインのセットを作るであろうことを予言します」と書いてあることを見せます。

客自身に3枚の封筒を開けて、中のコインを取り出してもらいます。驚いたことに自分の超能力的第6感によって、全ての封筒のコインのセットを完璧なものにしているのです。つまり、どの封筒にも1セント、5セント、10セントが入っているのです。

これは驚くべき結果と言えます。もし客が違うコインを選んでいたら、異なるコインのセットとなったはずですが、正に第6感についての実験が成功のうちに行われたのです。客が驚くべき結果を残しただけではなく、メンタリストも客の行動を正しく予言していたこととなります。

信じられないかもしれませんが、これは完全にHANDS-OFF（メンタリストが触らない）で出来るのです。メンタリストは距離を置いた所から指示をして、客自身が行うのです。このクローズアップメンタリズムはテクニック要らずの不思議なものです。

(秘密)

省略

(準備)

省略

(やり方)

省略

FIRST DATE REVELATION

これは恐らく私の一番気に入っているメンタリズムの1つだと思います。またこれは私の作品の中でもとてもうけるもので、現象は驚くべきものですが、難しくはないです。

女性が気に入るロマンティックなエフェクトであり、全ての年代の女性にうけます。男性も気に入ってくれるでしょう。

メンタリストは不可能に思える状況下で、ある人のファーストデートの相手の名前が書かれた紙片を当て、また巧妙なやり方によりそこに書かれた人物名まで当ててしまうのです。

このやり方の良い所は、紙片のスイッチや秘密のピーク等が必要ないことです。そのためあなたはやり方は気にせず、プレゼンテーションに集中出来ます。クローズアップ、ステージどちらでも出来ます。

ステージでも効果の大きいものですが、使うのはノートパッドとペンあるいは鉛筆だけです。これは私が秘密にしてきたものの1つで、ここで初めて解説するものです。解説してしまうには惜しいようなやり方であり、読者も感心してくれるでしょう。きっと今まで見たことのないものだと思います。観客が楽しむのと同じように、読者もこのエフェクトを演じるのを楽しんでください。

(現象)

1人の客に最初にデートした相手の名前を思ってもらいます。仮に女性客だとします。メンタリストは客に小さなノートパッドを渡しますが、そこには上から下へ縦に1~6の数字が書いてあります。客にペンを渡したらメンタリストは後ろ向きになり、客に心に思っている最初のデートの相手の名前を好きな数字の横に書いてもらいます。どこに書いたかはメンタリストに教えないようにしてもらいます。

次に、他の5つの数字の所に5人の人の名前を書ってもらいますが、最初のデートの相手が男性ならばすべて男性の名前を書ってもらいます。6人の名前が書かれた頁を破り取って、メンタリストに渡してもらいます。

メンタリストはハサミを使って、その頁を6つの紙片に切り分けます。それぞれの紙片には1つの名前が書かれています。メンタリストはそれぞれの紙片を折りたたみ、それを客にわたしてよく混ぜてから、テーブルに置いてもらいます。メンタリストは紙片の上に手をかざして動かしてから、1つの紙片を取り上げます。その折ったままの紙片を自分の額に当てます。

客に最初のデートの相手の名前に心を集中してもらいます。メンタリストは怪しい動作をすることなく、その名前を1文字ずつスペルし始めます。例えば、J-A-S-O-Nといった具合です。

「私はあなたの最初のデートの相手の名前が JASON だという心象を受けました。当たっていますか？」とメンタリストは言います。

女性客はうなずきます。

さらにメンタリストは、「また私は JASON の名前が書かれた紙片を見つけたと思います」と言って、折ったままの紙片を客に渡します。客がその紙片を開けると、彼女の最初のデートの相手 JASON の名前が書かれているのです。クライマックスです！

(2つのやり方)

省略

(方法1)

省略

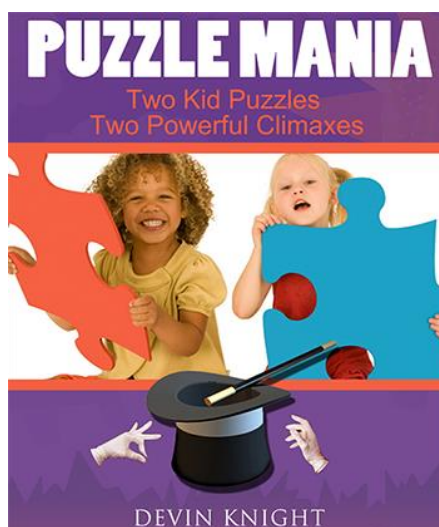
(方法2)

省略

(補足)

省略

PUZZLE MANIA



これは私が長年にわたり演じながら磨きをかけて来た、キッズ向けのメンタルエフェクトです。キッズが楽しめる不思議なエフェクトです。もしこれを誕生日パーティーで演じるならば、間違いなく誕生日の子どもをそのパーティーの主役にしてあげることが出来ます。

私の知る限りでは、元々のジグソーパズルエフェクトは 1970 年代にイギリスのメンタリスト ROMARK によって考案されました。その後 MONA LISA を使った有名なヴァージョンが発表され、マジックの世界にセンセーションを起しました。

その標準的なやり方では、メンタリストはジグソーパズルのピース（破片）をはめて完成させたものを布でカバーしてあると言います。

ただしそのうちの 1 枚のピースはメンタリストが抜き取ったと説明します。1 人の客にバッグあるいはボックスから 1 枚のピースを選んでもらいます。するとそれがフレーム（パズルの枠）の中の絵に足りない一片なのです！

私はパズルエフェクトに少し違うアプローチをして、エフェクトを 2 回繰り返すようにしました。この手順はキッズ向けのものであり、キッズパーティーには完璧なメンタルエフェクトです。

(現象)

私のやり方では観客に、フレームに完全な形でジグソーパズルが入っているのが見えています。

メンタリストはもう 1 枚空のフレームを見せ、こちらもジグソーパズルがピッタリと収まる大きさで、そちらのパズルのピースは透明なプラスチックのバッグに入っていると説明します。

1 人の子どもにステージに来てもらい、メンタリストと一緒に「当てっこゲーム」をやろうと言います。メンタリストはバッグの中のピースを混ぜてから、顔を横に向けます。子供に、バッグの中に手を入れて 1 枚のピースを取り、メンタリストに見えないように自分の背後に隠してもらいます。

子供がそうし終わったら、メンタリストは隠されたピースが何かを当てて見せると言います。メンタリストは完成されたパズルをしばし眺めます。そして 1 枚のピースを抜き取り、これが子供の選んだピースだと言ってテーブルに置きます。

次に子供に隠していたピースを前に出して、パズルの空いている部分にはめてもらいます。それはピッタリと合います！これが最初のクライマックスです。

次にメンタリストは子供に、今と同じ事が出来るかと聞きます。もし出来たら「ご褒美」がもらえると言います。メンタリストは完成されたパズルを裏向きにして観客に見えないようにして、1 枚のピースを取ります。パズルは裏向きのスタンドに立てかけます。次にバッグの中のピースが裏向きになるようにバッグを持ち、そこにメンタリストの取った 1 枚のピースを裏向きで入れて混ぜてしまいます。

子供がやる事は、バッグの中に手を入れて 1 枚のピースを取る事です。チャンスは 1 回だけです。もしその子が取ったピースがメンタリストの入れたピースであれば大成功で、「ご褒美」がもらえます。

子供はバッグの中に手を入れて 1 枚のパズルピースを取ります。バッグは脇にどけて、フレーム入りのパズルを表向きにします。子供に、自分の持っているピースが抜けている部分のピースか確かめさせると、皆が驚くことに正にピッタリと合うのです！その子も「ご褒美」をもらって大喜びとなります。これが第 2 のクライマックスです。

(エフェクトの仕組み)

省略

(セット)

省略

(やり方)

省略

(大人向けにやる場合)

省略

(テーマのあるショーの場合)

省略

FAR SIGHT: ファー・サイト



**カードに触れず、見ることも無く、
選ばれるカードを的中！ 驚きのメンタル・カード・ミステリー**

(現象)

『これからある実験を行いたいと思います。これをある人はマインド・リーディングとも言います。またある人はサブリミナル・コントロールだとも言います。あなた方で判断してみてください。では、どなたかお手伝いをお願いします。』と言って、観客にステージに上がってもらいます。

『これからあなたに1枚のカードを心に決めていただきます。ただし、あなたの心のイメージを読み取りやすいように、これから配るカードを良く集中して見ていただき、心に際立って飛び込んでくるカードを選んでみてください。フル・デッキ52枚ですと、あまりにもたくさんの数字とマークのイメージに入ってきて混乱してしまいますので、10枚程度のカードを使いましょう。』

『こうすれば、あるカードに意識を集中してイメージをしっかりと持つことができると思います』
こう言いながら、1組のデッキを取り出し(表向き)、テーブルに10枚のカードを配っていきます。

『どうですか。あるカードは際立っていて、集中しやすいのではありませんか。例えば、赤のクイーンとか。唯一の赤い絵札です。また、赤いカードで1枚Aがあります……。『クラブの9』はどうですか？この中ではった1枚のクラブのカードです……。この「スペードの6」も際立っています。他のカードは3, 5, 7, 9と全て奇数ですが、この「スペードの6」だけが偶数ですから……。この2枚の7のカードを見てください。この「7」はラッキー・ナンバーとされているので選びやすいのでは……。』

『どうですか、あるカードがあなたにせまってくるようにみえませんか。このカードは何かイメージしやすいとかはありませんか。では、しばらくお時間を差し上げますので、どれでも結構です。好きなカードを1枚心に決めてください。』と言いながら部屋の隅に離れて背を向けます。

『覚えていますか。ある人はこれを「サブリミナル・コントロール」と言って、潜在意識に働きかけてある影響を与えているのだと思っています。』

『どのカードを選んだかは言わないでください。きっと、あなたは、私が選ぶように働きかけたカードを選ぼうとしていると確信しています。もし、そうだと思うのなら、そのカードを選ばなくても結構です。反対に、私が選ばせようと思っているカードではないカードを選んでみてください。決まりましたら、合図をください。』

演者は遠く離れ、後ろを向いたままで、観客に1枚のカードを選んでもらいます。観客は表向きに並べられた10枚のカードを良く眺めながらある1枚のカードを選びます。残りのカードは見えないようにカバーを掛けてもらいます。

自由に選ばれたそのカードは裏向きにして、観客の両手で上からカバーしてもらい、全く見えない状態にしてもらいます。

まだ、部屋の隅に遠く離れたままで、演者はスケッチブックにマーカーで何かを書き付け、そばに置いておきます。

ここで、演者は観客に向き直り、心理的にある影響を与えることにより、何のカードを選ばせたか、またそれはなぜかを明かします。

観客はここで始めて、選んだカードを皆に見せます。まさしくそれは今言われたカードです！的中です！

さらに続いて、演者はさきほど書いたスケッチブックを皆に見せます。そこには、大きな文字で、観客の選んだカードの名前が書かれています！！

★ 使われているのは、マークドカードではありません！ 例え、カードに印が付けられていたとしても、全く見えない距離での演技になります。選ばれるまで、別室に居ても OK です。

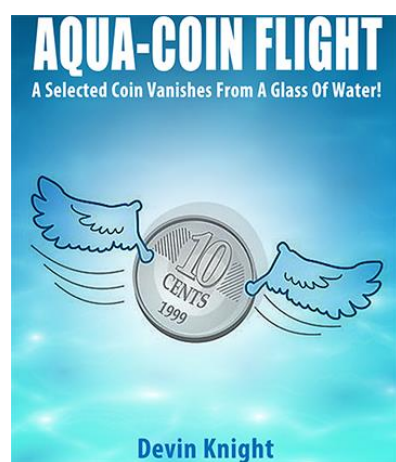
<仕掛け・準備>

省略

エンディング・クライマックス

省略

AQUA COIN FLIGHT



これは使うものすべてに仕掛けの無い素晴らしいマジックです。クローアップでもステージでも演じられます。小さな道具を使って効果が大きいので、私は比較的小さなステージでのショーでよく演じます。2人の客に手伝ってもらうので、小さなステージいっぱい演技が展開されることになります。

またどんな難しいテクニックも要らないのが、このトリックの良い所です。おそらく少し練習すれば、マスター出来るでしょう。

以下の解説ではアメリカのコインを使っていますが、サイズの違う3種類のコインを使えば、世界中どこでも出来ます。ただ、一番サイズの大きいコインが、あなたが使うポーカチップのサイズより小さい事が必要です。

(現象)

メンタリストは客から3枚のコインを借りて、後で確認するためにその発行年度を控えておいてもらいます。実際にコインのスイッチ等はなく、借りたコインを使います。

メンタリストは、背の高い水のいっぱい入ったグラスを示します。3枚の借りたコインはハンカチに包み、誰かに持たせます。その客にコインをグラスの中に落とさせます。観客はコインが水に落ちる音を確認に聞きます。注目して欲しいのは、コインをグラスの中に落とすのはメンタリストではなく、客自身だということです。

メンタリストはグラスを取り上げて観客の中を歩き回り、コインが水の入ったグラスの底にあるのを見せます。メンタリストは、グラスの背が高く、また手が入るほど口が広がらないので、このままでは誰も中のコインを取るの不可能だと説明します。コインを取り出す唯一の方法は、水をあけてグラスを傾けることだと言いますが、これは本当です。グラスをテーブルに戻し、ハンカチでカバーします。テーブルには小さなマニラ封筒が置いてありますが、1人の客にそれが空であることを確かめてもらいます。

メンタリストはポケットから1枚のポーカチップを取り出し、封筒の中に入れて封をします。その封筒を2つ折りにしてクリップで留めて、客の誰かに渡します。その客に、確かに中にポーカチップがあることを感じて確かめてもらったら、テーブルに封筒を置いてもらいます。

客に1枚のコインを選んでもらい、それをグラスから取り出す真似をしてもらいます。さらにそれをテーブルの上の封をした封筒へと投げるジェスチャーをしてもらいます。仮にそれが5セントコインだとします。

次に誰かにグラスからハンカチをどけてもらいグラスの中を見ると、中には2枚のコインしかありません！選ばれたコイン（5セント）は不可能な状況下で消えてしまいました。メンタリストは両手が空であることをあらためてから封筒を取り上げ、2つに破ってテーブルに中身を空けます。それは正に選ばれたコインであり、ポーカーチップは消えてしまいました！客に発行年度を見て、それが客から借りたコインであることを確認してもらいます。間違いなく客のコインです！

これが如何に効果的なエフェクトであるか判れば、あなたはどのショーにもこれを入れたくなるでしょう。

(必要なもの)

省略

(秘密とプレゼンテーション)

省略

TAROT SIGHT

(DEVIN KNIGHT & STEVE MURRAY)



TAROT SIGHT は私の「FOUR TOLD」原理に基づいた心を悩ませるようなエフェクトです。メンタリストである STEVE MURRAY から Eメールをもらってから数週間で考案したものです。

（訳注：「FOUR TOLD」は4人の客にシンボルを書いた紙を見せて好きなシンボルを心の中に思わせて、それを当てるメンタルマジックで、開示の時はそれぞれの客に裏向きでカードを1枚ずつ渡して1人ずつ開けさせていくと、客が心に思っているシンボルと一致するというものです。ジャンボカード版も販売されています）

彼は私の「FOUR TOLD」原理を、普通のタロットカードに応用するやり方を考えたと言ってきたのです。

彼はこう言っています：「『FOUR TOLD』を読んだ後で、タロットカードを、すぐ判ってしまうようなやり方ではなく巧妙なやり方でコード化したい、そしてそれぞれのカードを誰が心に思ったかを当てて見たいと思い始めたのです。タロットカードに書かれた具体的形のあるものや比喩的表現のものを見て、客に心の中でそのイメージを映像化させます。そして客の思ったカードを開示する時には、その映像の内容を聞くことなく、タロットカードの名を当てて見せるのです。

STEVE は私にその基本的アイデアを送ってきましたが、大変感心させられました。それを何度も読み返した後に、その方法はもっと改良出来ると彼に伝えました。彼はそうして欲しいと言って、元々私の「FOUR TOLD」をベースにしているので、彼のアイデアを使う事と他の人に教える事を許可してくれました。あなたがこれから学ぶのは、私の検討結果ですが、一般人はもとよりマジシャン相手にも何回も演じることで、それは磨きあげられて来ました。

本稿の一部は STEVE の解説そのままであり、私は彼と共にクレジットを分け合いたいと思います。私はこのエフェクトが気に入っており、それはオリジナルの「FOUR TOLD」を新たなレベルへと引き上げてくれました。何人かの人達が私のオリジナルに内在していると指摘している弱点を克服しています。それはいわゆる LOGICAL DISCONNECT（論理的分断）の程度が弱いという指摘ですが、その問題はこのやり方では解決されています。

(注：LOGICAL DISCONNECT という言葉は欧米のマジック書に時々出て来ます。要はそのマジックの前提条件（例えば、客がデッキをシャフルする）と現象（例えば、マジシャンが客の言った枚数目のカードを当てる）が論理的に考えた場合つながらない（DISCONNECT）事が大切だという考え方の方です（客がシャフルしたのだから、論理的に考えれば判るはずがない）。マジックにはこの LOGICAL DISCONNECT が必要であり、その度合いが大きいほど不思議な良いマジックとなります）

オリジナルの「FOUR TOLD」に比べてこのエフェクトが強力なのは、演技に使うタロットカードは 78 枚の異なるカードであるのに対し、メンタリストの秘密の作業の対象が 5 枚だけで済むからだと言えます。

演技の中で、4 人の客の 1 人にシャフルされたタロットパックのトップから客によって 5 枚のカードが取られます。これ等の 5 枚のタロットカードはメンタリストに見せないようにしてもらいます。それぞれの客はそのうちの 1 枚を心に思います。何も書かせたりしませんし、メンタリストに対し、また客同士でも何も言いません。客は同じカードを思っているかもしれないし、異なるカードを思っているかもしれません。また使っているカードが何かについても、メンタリストには何の手がかりもないように、観客には見えます。

客達は目を閉じて、自分が思ったカードに書かれた動物や人物を心に映像化（思い描く＝VISUALISATION）するように言われるだけです。観客の中の鋭い客も、これがどうやって成立するのか判らず、首をひねるでしょう。つまり、メンタリストは 5 枚のカードを見ることなく、また演技の始めにタロットパックをシャフルさせ、またその多くのカードにすべて異なる人物の絵が描かれていることを見せているのです。つまり、いくつかの LOGICAL DISCONNECT が存在しています。

客にはまず動物の映像化を、次に人物の映像化を頼みますが、その 2 回の映像化で客の思っているカードを当てられるケースも多いです。3 回目の映像化が必要なケースでは、再び同じ動物を心の中で映像化してもらいます。それは初めの動物の映像化の単なる繰り返しにすぎないように見えます。つまり実質的に人物と動物 1 回ずつ映像化してもらったように見えます。

演技の中でいかなる時にも客が心の中の映像について語る事はないという事実を再度強調しておきたいと思います。客はただ目を閉じてメンタリストが知らないカードのイメージを心の中で映像化するだけなのです！

ではいよいよ、あなたがそのやり方の簡単さのゆえに演じる度に嬉しくなるような、このエフェクトの秘密にご案内しましょう！

これは「FOUR TOLD」のやり方を極限まで洗練したものであり、無駄のないやり方です。FISHING（客へ探りを入れること）のようなこともしない、恐らくあなたが今まで見た中で最も本当のマインドリーディングに近いものの 1 つです。

(現象)

仕掛けの無い 78 枚のタロットカードのパックを客にシャフルさせます。客にはカードがレギュラーなもので、すべてのカードが異なるものであることを確認させます。シャフルが済んだら、さらに 3 人の客にステージに来てもらいます。

4 人の客のうちの 1 人にタロットパックのトップから、5 枚のカードを取らせます。そのカードを客達には見えるが、メンタリストには見えないように表向きに並べてもらいます。並べる順番は客の自由です。

それぞれの客に 5 枚のカードのうちの 1 枚を心に思ってもらいます。カードは何かに書いたりするのではなく、ただ心に思うだけです。何の制約もないので、全員が異なるカードを思うこともあれば、全員が同じカードを思うことさえあり得ます。客はお互いに情報交換等はしないでもらいます。

こうしてタロットカードの選択が済んだら、メンタリストは4人の客の心を一度に読み取るプロセスに入ります。

「タロットカードは1枚1枚が絵物語の1頁のようです。そしてそこに描かれた具体的なものや比喩的に表現されたものから、あなたの心の奥底に隠されたあなたがどんな星の下に生まれたのかという秘密を読み取る事が可能なのです。またカードの絵が人物であれ動物であれ、命あるものの方がその心象、イメージを他の人の心に送るのが楽なのです。皆さんの心の中のカードの映像を見て、人物や動物がいるかどうか見てください。どうかあなたのカードに書かれているものに心を集中して、私の心にその心象を送るように努力してみてください」

メンタリストはノートパッドを取り上げて、客達から受け取る心象を書き留め始めます。それらの心象を受け取る度に人物や動物のラフな姿を書いて行きます。

(注)(現象)では客への「映像化」の依頼の仕方は簡単に述べてあるだけであり、詳細は以下で説明します。

(最初の映像化の指示—動物)

「私は何か動物の心象を得ています。あるものは弱く、あるものは強いです。もしあなたのカードに1匹でも複数匹でも動物がいるなら、どうぞ目を閉じてその動物を心の中で映像化して思い描いてください。それに生命を与え、それが動き回るのを思い描いてください・・・済んだら目を開けてリラックスしてください。動物の映像はゆっくりと消して行き、心をクリアにしてください」

続いて2回目の指示を出します。

(2回目の映像化の指示—人物)

「もしあなたのカードに男性でも女性でも人物が描かれていたら、どうぞ目を閉じてその人物を心の中で生命のある、息をしているものとして映像化してみてください。ひょっとしたらその人物はあなたに何かを話しかけているかもしれません」

客がそれをしている間、メンタリストはしばし待ちます。

「・・・はい、ではリラックスしてください。心をクリアにしたら目を開けても良いですよ」と言います。

ここで必要なら、3回目の指示を出します。

(3回目の映像化の指示—最初の動物の映像化の繰り返し)

これは常に必要とは限らないものです(後述)。

「素晴らしいです。人物の心象は判り易く、受取り易いものです。ただし動物は種類も多いので、もっと難しいのです。実際にさっきは複数の種類の動物を感じて混乱しました。これはタロットカードのあるものには複数の動物が描かれているからかもしれません。そこでもう一度皆さんのカードを見てください。もし複数の動物が描かれていたら、もう一度目を閉じて走り回るエネルギーに満ちたその動物たちを心の中で映像化してみてください」

その後メンタリストは、空間を超えて客から受け取り感知した正しい心象を述べます。その間客達には表情を変えないようにしてもらいます。そしてメンタリストがすべてのカードを明らかにするだけでなく、どのカードをどの客が心に思っているのかまで当ててしまうのです!例えば、1人の客に向かって、「あなたはTHE FOOL」を思っていないませんか?と言うのです。

信じ難い事に、客は何も言わないのにメンタリストには判ってしまいます。客は目を閉じて、自分のカードの人物あるいは動物を映像化するだけです。この不可能に見える状況下でメンタリストは常に100%正しく、これは本当のマインドリーディングに限りなく近い現象だといえます。

(秘密)

省略

(仕組み)

省略

(開示)

省略

TEST CONDITIONS RING PENETRATION

マジック解説書には数多くの「RING ON RIBBON」(リボンに貫通するリング)のやり方がのっています。これ等の多くは巧妙な技法や余分な同一リングを使用しています。ここで解説するやり方の良いところは、リボンに仕掛けがなく、同一リングも使わず、またどんなタイプの技法も使わないところです。客から借りたリングでも出来ます。信じ難いかもしれませんが、このエフェクトは両手を背後に回したままでも出来るのです。

メンタリストの両手は、調べてもらった3メートル位のひもで背後で結んでもらいます。ひもの両端をメンタリストの両手首にそれぞれ結び付けるのです。客に黒のシャープペンで結び目にマークをしておいてもらいます。これはエフェクトの途中で結び目がほどかれたりしたら判るようになるためです。もしほどかれたりしたら、結び目の上のマークはずれてしまいます。

ひもの両端がメンタリストの手首に結び付けられているので、リングをひもに通すのは不可能だと説明します。さらに同じくその状態では、リングをひもに結び付けるのも出来ないと言いますが、それは本当です。しかしメンタリストは、この厳しい条件下でそれらのことをやって見せようと言うのです。

メンタリストは両手首を背後で結ばれたまま、客からリングを借りて片手に持ちます。メンタリストが向き直ってわずかな時間の後に、借りたリングは見事にひもを通り、しかもひもに結ばれているのです。

客が結び目をチェックしますが、マークはそのままです。明らかに結び目はほどかれたりしていません。ひもが手首に結ばれた状態のまま、客にひももリングも調べてもらうことが出来ます。実際にリングはひもを貫通して通っており、結び目も本物です。手首にひもの両端が結ばれている状態では、リングをひもから抜き取ったり、結び目を解いたりするのが不可能であることを観客の誰にでも確認してもらえます。

リングを外すためには、誰かがひもを切るか、片方の手首の結び目を解かなければなりません。客に手首のひもを解かせてみると、間違いなくリングにひもが通っていることが判るのです！

(秘密)

省略

(仕組み)

省略

(ステージで行う)

省略

BLINDSIGHT DIY: ブラインドサイト



4つの封筒の中の色も、選ばれる封筒も、
全て観客が見透す！ 有り得ない真実！

(現象)

● 『人間には普段は発揮されていない、第3の目とも言われているブラインドサイト：透視能力があると言います。今日は簡単な実験で試してみたいと思います。』

● 4色のカード（赤、青、緑、黄）をそれぞれ封筒に入れて封をします。その後、それらの封筒は良く混ぜてしまいます。

● 観客に、適当にどれか一つの封筒を選んでもらい、（ノー・フォーアス、ノー・マジシャンズ・チョイス）中の色を推測してもらい、その言われた色を封筒にマーカーで書いておきます。

● 残りの封筒からも同じように一つを選んでもらい、色を言ってもらいます。言われたら、その色を書き封筒に書いておきます。こうして4枚の封筒全てに記入していきます。

● 4枚の封筒をファン状に広げ、それぞれに今言われた色が記入されているのを確認してもらったら、『これから行う最初の実験には、3枚の封筒しか使いません。どれか1枚使わない封筒を選んでください』と言って、好きな色の封筒を選んでもらい横に除いておきます。⇒例えば「黄色」と書かれた封筒とします。（ノー・フォーアス、ノー・マジシャンズ・チョイス）

● 残された3枚の封筒を1枚ずつ開けていきます。観客が推測したとおりの色のカードが中から出てきます！全体的中です！

● 『素晴らしい直感です！透視能力があるのかも知れません。』

『そして、ここに残された封筒、さきほど取り除かれた封筒があります。どの封筒が取り除かれるかは誰も知りえないことです。』

● その封筒を観客に（マジシャンではなく）取り上げてもらい、開けてもらいます。確かに封筒に書かれた色と同じ色のカードが出てきました！しかしそれだけではありません。中からはメモが出てきます。それには、＜黄色の封筒が取り除かれます！＞と書かれていて全員驚きです！

★他の封筒は、色のカード以外何も入っていません。空です。手渡し改めてもらえます。

(仕掛け・準備)

省略

(演技)

A LIFETIME IN MAGIC

By DEVIN NIGHT

翻訳： 平賀 義達

編集：（有）フェザータッチ MAGIC

■ この日本語解説書は、あくまでも英書「A LIFETIME IN MAGIC」をご購入いただいた方へのサービス原稿となります。日本語解説書単体での販売はできません。また内容についてはフェザータッチ MAGIC が独自に翻訳編集したものです。

★ この日本語版の全てのコンテンツ(情報・資料・画像等)の著作権は、フェザータッチMAGICが所有します。一部、全部を問わず、無断でのコピーはもちろん、いかなる手段での転記、転載（電子メールを含む）販売等の二次使用は一切禁止します。

日本語版解説書©2018 FTM: *Feather Touch Magic Inc.*

販売：（有）フェザータッチ MAGIC

www.FTMagic.JP



フェイスブック：www.facebook.com/ftmagic

（新製品情報、特別セール情報等はこちら Facebook でチェック）



メール：FT@FTMagic.JP